

## 中央公民館

### 家庭教育学級

～楽しんで子育て～

**期日** 6月11日(木) (第1回)～  
12月上旬 (全9回予定)  
**時間** 午前10時～11時30分  
**内容** 講演や調理実習等を通して、  
子育てについて仲間同士で学  
び合い、交流し合う講座です。  
**申込** 5月18日(月)から申込開始  
**対象** 育児中またはこれから育児を  
する人  
**定員** 30人  
**参加費** 1,000円



### 運動で内臓脂肪と ストレスを解消しよう

**期日** 6月4日から毎週木曜日  
**時間** 午後7時30分～8時30分  
**内容** 太りにくい身体づくりのエクサ  
サイズを教えてください。  
**申込** 5月26日(火)まで  
**定員** 20人 (市内在住・在勤)



### 初級英会話教室

**期日** 6月から毎週火曜日を予定  
(祝日、8月を除く) ※詳細につ  
いてはお問い合わせください。  
**時間** 午後7時～9時  
**内容** ゲームや音楽など、英会話が楽し  
くなるように工夫された授業で国  
際交流してみませんか。  
**対象** 市内在住在勤で簡単な  
英語が理解できる人  
20人



## 今月の伝言板

### 西部公民館

#### 生きがづくり講座 ベビーマッサージ

**期日** 6月3日、17日、7月1日、  
8日 (全4回、毎回水曜日)  
**時間** 午前10時30分～11時30分  
**内容** 赤ちゃんに直接触れて優しく  
マッサージ。リラックスしながら  
親子のスキンシップが図れます。  
**対象** 1歳未満の子どもとその保護者  
**持ち物** バスタオル、赤ちゃんの水分補  
給用飲み物  
**その他** 予防接種後48時間以内の受講  
は避けてください。



### 豊田公民館

#### 大人のピアノ講座

**期日** 6月18日から9月10日  
(全5回、毎回木曜日)  
**時間** 午後1時30分～3時  
**内容** 高野辰之作詞の唱歌「紅葉」を弾  
けるようになりましょう。初心者  
大歓迎です。  
**対象** 成人以上



# 文化 なかの

公民館報  
No.182  
(通巻No.714)

## 北部公民館

### はじめての苔玉づくり

**期日** 6月2日(火)  
**時間** 午後1時30分～3時  
**内容** 苔玉づくり (制作した苔玉を  
1個お持ち帰りいただけます)  
**定員** 20人 (市内在住・在勤)  
**申込** 5月26日(火)まで  
**材料費** 1,200円



### やさしい薬膳 ～夏編～

**期日** 6月17日(水)  
**時間** 午前10時～午後0時30分  
**内容** ①日々の食事に生かせる薬膳の  
基礎知識の講話②食材の効能を  
学びながらの料理2品程度の調  
理実習  
**定員** 16人 (市内在住・在勤)  
**申込** 6月10日(水)まで  
**材料費** 800円



※「今月の伝言板」の講座の受講には、**申込が必要となる講座が  
あります。**詳しくは、下記の連絡先にご連絡ください。

■中央 ☎ (22) 2691 ■北部 ☎ (26) 0677  
■西部 ☎ (23) 1024 ■豊田 ☎ (38) 2922



▲公民館  
ホームページ

### 一本木村は稲向郷(村)

今から千年前、平安時代の  
初期に建てられた高山寺(京  
都市)の文書の中に「稲向郷」  
のことが記されているが、こ  
れは現在の中野市一本木であ  
ることが読み取れる。その理  
由をいくつか書いてみる。

①現在、一本木の神社は、社  
名が「稲向太元神社」という。  
「いなむきおうもと」と読む  
が、平安時代の言葉「いなむ  
き」が使われている。

②神社本殿のすぐ東隣の一段  
高い所に「弁天池」がある。  
この池の水は、現在も稲向太  
元神社の本殿と拝殿(人々が  
神事の際に集まって参加する  
建物)の間を流れており、か  
つて下流の稲向村の農業・生  
活の用水となっていた。今の  
神社の中を見ると、本殿と拝  
殿の間は、小石敷きの部分  
となっている上に、ここには

## ふるさとの歴史



▲稲向太元神社



▲弁天池

大小の岩石を組み合わせて  
作った雪洞(小型の照明具)  
が一對置かれている。こんな  
型式を有する社殿型式の神社  
は、県下にも例は少ない。  
③弁天池は、現在吉田堰から  
用水が入って、その水が池を  
潤している。しかし、この用  
水は、江戸時代に一本木村と  
吉田村が用水争いをして作っ  
た「泰賀堰」が流れ込んでい  
る。これ以前、池はこんこん  
と自噴していたものである。

### 岩戸貞彦

県北信シニア大学郷土史講師  
「高井」元常任委員  
中央公民館ふるさと歴史探訪講座講師

※中央公民館では、「ふるさとの歴史」を執筆してくれる人を募集しています。  
興味のある人は、お気軽にお問い合わせください。